

第6回 遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会

令和4年度アクションプラン取組状況報告について

令和 5年 7月 26日

(1)これまでの経緯

	遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会	作業部会
平成30年度	H30.8.1 第1回 協議会 ・設立趣旨、規約・取組方針 ・流域における連携・協働の可能性	H31.2.28 第1回 作業部会 ・関係機関アンケート、ヒアリング結果
令和元年度	R1.7.24 第2回 協議会 ・取組についての状況報告 ・連携・協働する取組について	R1.6.27 第2回 作業部会 ・取組についての状況報告 ・連携・協働する取組について意見交換 R1.11.29 第3回 作業部会 ・個別・連携・協働する取組み ・アクションプラン(素案)
令和2年度	R2.8.24 第3回 協議会 ・取組み報告 ・アクションプラン 承認	R2.7.2 第4回 作業部会 ・取組み報告、アクションプラン(案)
令和3年度	R3.7.28 第4回 協議会 ・アクションプラン取組状況報告 ・連携・協働アクションプランの当面の取組(素案) 作成進捗報告	R3.7.16 第5回 作業部会 ・アクションプラン取組状況 ・連携・協働アクションプランの当面の取組(素案)
令和4年度	R4.7.27 第5回 協議会 ・アクションプラン取組状況報告 ・連携・協働アクションプランの具体的取組(案) の審議	R4.7.8 第6回 作業部会 ・アクションプラン取組状況 ・連携・協働アクションプランの具体的取組(案)
令和5年度 今回→	R5.7.26 第6回 協議会 ・アクションプラン取組状況報告 ・連携・協働アクションプランの具体的取組の審議	R5.7.5 第7回 作業部会 ・アクションプラン取組状況 ・連携・協働アクションプランの具体的取組

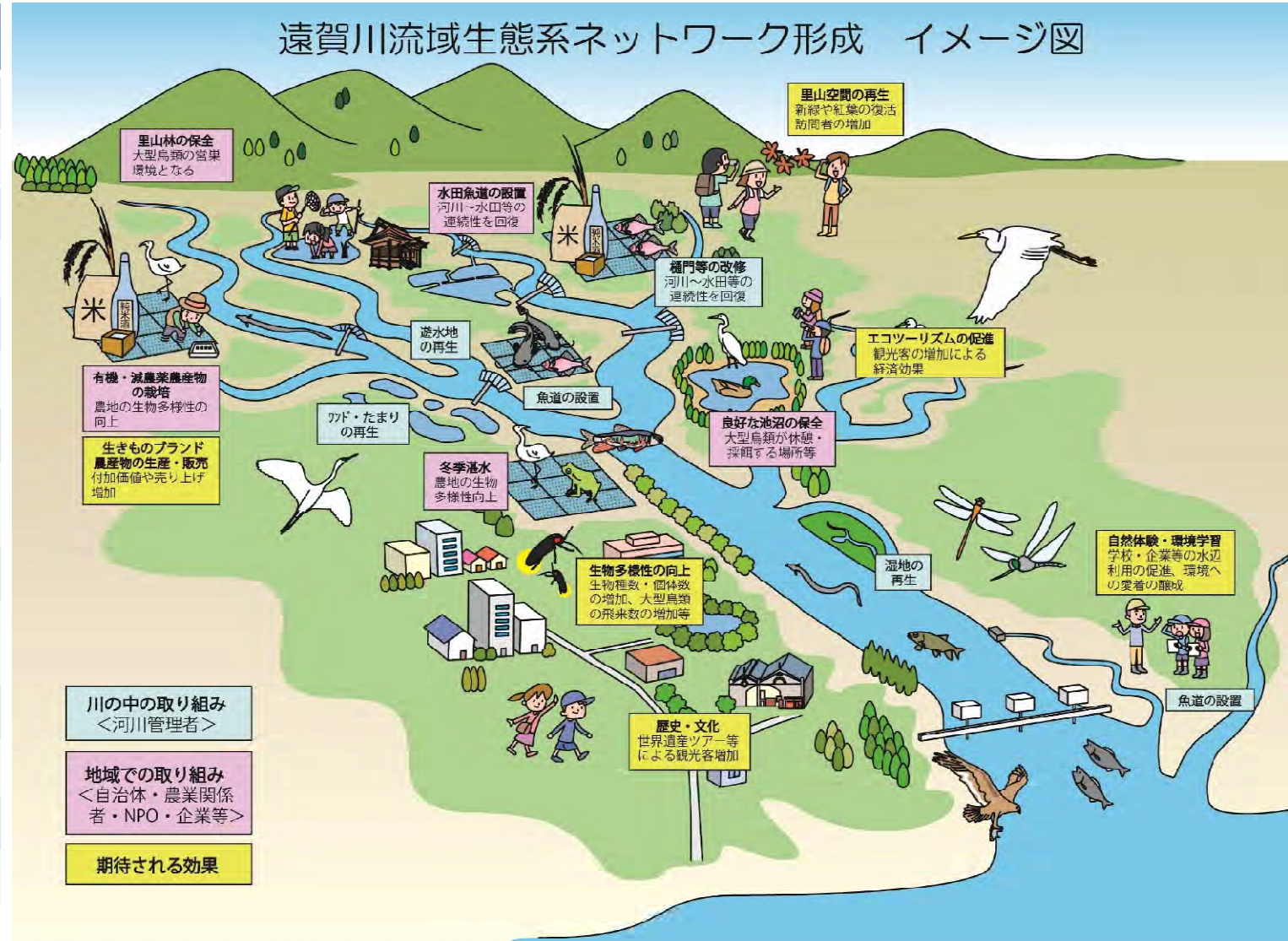
※連携・協働アクションプランの具体的取組は、進捗に応じて適宜見直す。

(1)これまでの経緯:アクションプラン

■アクションプラン

14アクションプランは、各関係機関・企業・住民団体等と連携しながら取り組んでいる。

NO	アクションプラン
1	河口域干潟の保全・再生
2	河川の縦断的連続性の保全・再生
3	河川とその周辺の横断的連続性の再生
4	河川における湿地環境の保全・再生
5	外来生物の駆除等
6	農地環境の保全・再生
7	森林環境の保全・再生
8	里地・里山における水辺のネットワーク形成
9	流域の環境を守る人材の育成
10	豊かな自然環境と歴史・文化的資源を活かした地域振興
11	流域における多様な主体の連携
12	生態系に関する情報共有
13	生態系に関する情報発信
14	生態系に関する普及啓発活動



(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

●R4年度の各関係機関のアクションプラン取組状況は以下のとおり。

		構成機関																																		合計（実施取組機関の数）			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34				
		国土交通省 遠賀川河川事務所	環境省 九州地方環境事務所	福岡県 県土整備部 河川整備課	福岡県 環境部 自然環境課	福岡県 農林水産部 農山漁村振興課	福岡県 直方県土整備事務所	福岡県 北九州県土整備事務所	福岡県 田川県土整備事務所	福岡県 飯塚県土整備事務所	福岡県 宗像・遠賀保健福祉環境事務所	福岡県 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	八幡農林事務所	飯塚農林事務所	北九州市	直方市	飯塚市	田川市	中間市	宮若市	嘉麻市	芦屋町	水巻町	岡垣町	遠賀町	小竹町	鞍手町	桂川町	香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	福智町	赤村				
主となる取組	1	河川域干潟の保全・再生	○																																		2		
	2	河川の縦断的連続性の保全・再生	○	●		●																																	3
	3	河川とその周辺の横断的連続性の再生	○													●	○				○	○	●															6	
	4	河川における湿地環境の保全・再生	○	●				○		◎								◎		●				●														7	
	5	外来生物の駆除等	○	●		○	◎					△			○	○	○			○			◎	◎		○					○				○			14	
	6	農地環境の保全・再生													○	○	○						○													◎		3	
	7	森林環境の保全・再生				○						◎	◎	◎	○				◎										●	◎	○		◎			◎		11	
	8	里地・里山における水辺のネットワーク形成	○														○																					2	
	9	流域の環境を守る人材の育成	○		●	●			●			△			○		○	○					◎		○				●	○			●			●		14	
	10	豊かな自然と歴史・文化的資源を活かした地域振興	○		●	●									○		○	●	●	○			●	○			●			○	○			●				14	
	11	流域における多様な主体の連携	○		○	●	●							◎	○	●	◎		○				●															10	
	12	生態系に関する情報共有	○												○		○																					3	
	13	生態系に関する情報発信	○			○									○	○	○						●	○	○						◎		●					10	
	14	生態系に関する普及啓発活動	○		●					●						○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	△	●	●	20	
合計件数(実施取組数)		12	1	6	6	2	1	1	1	2	0	3	1	2	8	4	11	3	5	4	3	9	4	3	2	2	2	1	2	6	2	1	3	3	1	4			

凡例

◎：令和2年度以降で令和4年度初実施

○：令和4年度実施

●：新型コロナ禍前の令和2年度実施

△：令和4年度実施予定だったが、新型コロナ等で中止

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No 4 河川における湿地環境の保全・再生

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
国土交通省 遠賀川河川事務所	・令和4年3月13日に遠賀川河川事務所と中島自然再生協議会の協働で、樹林化の抑制とヨシ原・オギ原の再生のための火入れを実施した(平成31年、令和3年に続き3回目)。中島(中間市)において自然再生事業のモニタリング調査(魚類・植物)実施した。中島の植物図鑑シートを作成した。
飯塚県土整備事務所	・時期: 令和4年11月～令和5年1月 場所: 穂波川(豆田橋上流) 主体: 飯塚県土整備事務所 内容: 河道掘削時に希少生物(オンガスジシマドジョウ等)に配慮して、専門家の助言を頂きながら施工した。
飯塚市	・時期: 令和4年4月24日 場所: 旧目尾小学校付近の遠賀川河川敷 主体: 飯塚市(エコ工房委託事業) 内容: 水生生物観察会※9月は悪天候のため、中止となった。

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.5 外来生物の駆除等

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
国土交通省 遠賀川河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・河川工事、維持管理時にオオキンケイギクを確認した場合は適切に駆除した。 ・令和5年1月30日に遠賀川流域生態系ネットワーク形成推進協議会として外来生物勉強会を実施した。
福岡県 環境部 自然環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種防除リーフレット(オオキンケイギク、アレチウリ等)を引き続き県HPに公開し、普及啓発に努めている。
福岡県 農林水産部 農山漁村振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・時期:令和4年8月 主体:八幡農林事務所 内容:令和5年度新規採択地区の事業計画策定(ほ場整備など)において、環境情報協議会を開催し、工事の際、保全対象種を発見した場合は近隣水路へ移動、特定外来生物は駆除することを確認した。(R5新規地区:2地区)
北九州市	<ul style="list-style-type: none"> ・時期:令和4年4月1日～令和5年3月31日 主体:北九州市 内容:外来生物に関するホームページの更新、SNS等への掲載などの情報を発信した。
直方市	<ul style="list-style-type: none"> ・外来生物の情報を発信した。(チラシ配布 窓口:通年)

赤字:令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.5 外来生物の駆除等

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
飯塚市	・外来生物の情報を発信した。 (HPにオオキンケイギク等の外来生物の駆除等について掲載、国・県からの外来生物に関するチラシの配架)
宮若市	・令和4年4～6月 トヨタ自動車九州周辺 オオキンケイギクの駆除を行う企業(トヨタ自動車九州)に対し、ボランティアごみ袋の提供や回収を支援した。
芦屋町	・令和4年5月下旬に町有地等においてオオカワジシャ及びオオキンケイギクの駆除を実施した。
水巻町	・時期: 通年 場所: 町内全域 主体: 水巻町 内容: 町内に繁殖しているオオキンケイギクの除去を職員で行った。 また、R4.4.10の広報誌において、オオキンケイギクの情報発信した。

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.6 農地環境の保全・再生

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
芦屋町	主体: 芦屋町教育委員会 内容: 小学校児童による田植え、稲刈りの体験を実施した。
赤村	・時期: 令和4年5月21日(土)、9月17日(土) 場所: 源じいの森他 主体: 赤村 内容: 農業体験イベントを通じて、農業や農地環境の魅力をPRした。

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施



田植え体験

広報あか 2022年7月号 VOL.795 赤村HP



稲刈り体験

広報あか 2022年11月号 VOL.799 赤村HP

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.7 森林環境の保全・再生

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
福岡県 環境部自然環境課	・英彦山及び犬ヶ岳における生態系回復事業を平成28年度から実施中。シカの生息状況調査や捕獲事業、絶滅危惧種の種子の保存を実施している。
福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・時期: 令和4年5月15日、6月27日、11月9日、11月14日、11月26日 場所: 福岡県立英彦山青年の家及び付近の林野 主体: 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 内容: レンゲツツジの生育状況調査等及び英彦山自然観察会を実施した。
八幡農林事務所	<ul style="list-style-type: none"> 時期: R5年3月13日 場所: 岡垣サンリーアイ 主体: 福岡県(共催: 岡垣町) 内容: 岡垣町内の住民参加による鳥獣被害防止対策研修会(100名規模)を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 【研修内容】 ・岡垣町が施行(戸切地区)した「野生動物緩衝林整備事業(R4新規事業)」の成果報告をした。 ・イノシシ、シカ被害対策の専門家による講義「野生動物緩衝林整備事業」人と野生動物の距離が近くなり、被害が発生している里山において、野生動物との棲み分けを図るため、不要木伐採による、野生動物が身を隠す事が出来ない見通しの良いバッファゾーン(緩衝地帯)を整備した。

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.7 森林環境の保全・再生

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
飯塚農林事務所	・時期:令和4年7月～令和5年3月 場所:支流を含む遠賀川流域 主体:福岡県飯塚農林事務所 内容:保安林において間伐等を実施するとともに森林組合等が実施する森林整備を支援した。
北九州市	・時期:令和4年6月～令和5年1月 場所:支流を含む遠賀川流域 内容:9団体が林道の整備や草刈り作業を実施した。
中間市	・時期:令和4年5月 場所:曲川源流の水辺の里 内容:草刈り、源氏ホタルの飛翔体数の確認を実施した。

赤字:令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.7 森林環境の保全・再生

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
添田町	<ul style="list-style-type: none">・時期: 令和4年6月～令和5年3月 場所: 添田町内 主体: 添田町・添田町森林組合 内容: 期間を通じて、間伐(英彦山・落合・柵田42.92ha)、下刈(落合、柵田、添田9.50ha)、植栽(柵田1.09ha)を行った。・時期: 令和4年4月～令和5年3月 場所: 添田町内 主体: 添田町・添田町有害鳥獣対策協議会 内容: 有害鳥獣(ニホンジカ・イノシシ・アライグマ等)の捕獲を実施した。・時期: 令和4年9月11日～25日、令和5年3月19日～26日 場所: 添田町内(他の市町村は各区域内) 主体: 福岡県・添田町(香春町、川崎町、赤村) 内容: 九州シカ広域一斉捕獲(ニホンジカの集中捕獲期間)を実施した。

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.9 流域の環境を守る人材の育成

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
国土交通省 遠賀川河川事務所	・遠賀川河川事務所職員による環境学習を小学生を対象に開催した。
福岡県嘉穂・鞍手保健 福祉環境事務所	・3月に「環境保全活動団体交流会」を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、中止した。
飯塚市	<ul style="list-style-type: none"> ・時期: 令和4年4月24日 ・場所: 旧目尾小学校付近の遠賀川河川敷 ・主体: 飯塚市(エコ工房委託事業) ・内容: 水生生物観察会※9月は悪天候のため、中止となった。 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の交流センターで市職員による環境についての講座を行った。 ・ゴーヤの苗を市民及び施設等に配布を行い、家庭や施設等での緑のカーテンプロジェクトを推進した。(配布期間: 令和4年5月23日～27日) ・令和4年度の環境教育推進大会(エコスタいいづか)は市役所本庁舎で開催。環境についての活動報告ブースや、工作ブースなど出展し、約1,000人の来場があった。
田川市	・市内の小学校4年生に環境啓発(冊子)副読本を配布した。
芦屋町	<ul style="list-style-type: none"> ・魚道学習で川の生態系や水質の違い等を調べる学習の実施した。(小学校単独事業) ・学校内のビオトープを活用した環境保全学習を実施した。(小学校単独事業)

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.11 流域における多様な主体の連携

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
国土交通省 遠賀川河川事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・時期：令和4年6月9日、8月21日、10月12日 主体：NPO、自治会（宮若市）、遠賀川水系水環境保全・再生推進協議会 内容：伊岐須小学校、宮若市小原区自治会、飯塚市立立岩小学校の環境学習の支援を行った。
飯塚農林事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・時期：令和4年5月～令和5年3月 場所：飯塚市内 主体：13団体 内容：複数の市町村において地域住民団体が主体となった下刈や森林環境教育等のイベントを開催した。
飯塚市	<ul style="list-style-type: none"> ・時期：令和4年10月29日 場所：飯塚市芳雄町 主体：飯塚川づきあい交流会 内容：芳雄橋下流の中之島にて、ナイトリバーin飯塚を開催した。 (連携：飯塚川づきあい交流会) ※8月7日に飯塚市太郎丸付近の穂波川左岸河川敷にて遠賀川カヌー一駅伝大会(連携：飯塚川づきあい交流会)は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止した。

赤字：令和2年度以降で令和4年度初実施

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 関係機関

■No.13生態系に関する情報発信

機関名	取組み実施状況(年月日、場所、内容等)
芦屋町	<ul style="list-style-type: none"> ・時期: 令和4年6月 ・オオキンケイギク駆除の必要性に関するチラシの町内回覧、広報紙による啓発を行った。
水巻町	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期環境基本計画を令和3年3月に策定し、町のHPで令和3年4月から随時情報発信を行っている。
香春町	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次香春町環境基本計画(2022~2031)を策定し、HPで公開した。

赤字: 令和2年度以降で令和4年度初実施

このような花です
繁殖力が強く増殖します

オオキンケイギクをみんなで駆除しよう!

～日本に昔からある植物を守ろう～

オオキンケイギクは北米原産の多年草で、5月～7月ごろにかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせます。繁殖力がとても強く、一度定着すると、日本在来の野草の生息場所を奪い、周囲の生態系を一変させてしまいます。そのため特定外来生物に指定され、栽培などで生息域を広げることが禁止されています。所有地などに繁殖している場合は、駆除(除草)をお願いします。

▷駆除の方法 根から株ごと引き抜き、種子や根を落とさないように袋に入れて密閉し、枯らした後に燃えるごみで出してください。

▷問い合わせ 環境・公園係 ☎223・3538

沿道に生えている様子

広報あしや 令和4年7月号掲載 芦屋町HP

第3次香春町環境基本計画

令和4(2022)年度～令和13(2031)年度

令和4(2022)年3月
香春町

第3次香春町環境基本計画(表紙画像)

第3次香春町環境基本計画 香春町HP

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 地域住民・NPO等

【地域住民・NPO等の取組：NO.7 森林環境の保全・再生】

●森林環境の保全・再生として竹林間伐、間伐後の利活用としてメンマ作り、竹炭による河川浄化等が実施された。

10月23日 第12回 源流の森再生応援団

主催：NPO法人遠賀川流域住民の会



嘉麻市



孟宗竹を切り出して竹炭を作り、河川の浄化に利用する活動を遠賀川流域住民の会と嘉穂総合高校城山大隈校の生徒さんで行いました。地元の山林の環境保全のため、継続的に取り組んでいきます。

出典：遠賀川流域だより No80

中島たけのこ掘り(竹林管理)



4月24日：中間市 主催：中島自然再生協議会
遠賀川の中島にはタブの木など希少種の樹林がありますが、残念なことに竹林が押し寄せてきています。会員の皆さんはこの樹林を守るため、ほぼ年間を通して竹林の管理を行っています。その一環として、たけのこ掘りをこの時期に行っています。

出典：遠賀川流域だより No78

利活用

メンマ作りで竹林を再生させよう



5月8日：嘉麻市 主催：嘉麻市宮野地区地域活性化実行委員会
宮野地区地域活性化委員会では竹林整備と竹の利活用の一環として「メンマ作り」を行いました。今年は裏年であったため、昨年の半分(約30kg)でした。日本環境監視協会福岡支部の山本先生から乳酸菌発酵などで美味しくなる仕組みを教えて頂きました。実行委員を始め、各方面から沢山の参加をいただき、有り難うございました。

出典：遠賀川流域だより No78

12月17日 清掃活動・竹炭設置

主催：田川ふるさと川づくり交流会



類刺す冷たい風の中、河川敷清掃活動と彦山川へと続く排水路に竹炭を設置しました。この竹炭は源流の森再生応援団で作られ、防臭と水質浄化の効果を期待しています。ゴミの無い誰もが誇れる心安らぐ彦山川であって欲しいそんな思いで作業しました。

田川市

2月2日 竹炭の入れ替え、ホタルの幼虫の放流

主催：菅尾川水辺の楽校運営協議会



源流の森再生応援団が作った竹炭を利用した、竹炭籠の入れ替えを行いました。1年間川に浸けた竹炭籠の中には、大量のシジミ潮イ、カワニナ、バカガイがいました。その後、香月黒川ほたる館が飼育したホタルの幼虫を放流しました。

八幡西区

出典：遠賀川流域だより No81

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 地域住民・NPO等

【地域住民・NPO等の取組：N0.9 流域の環境を守る人材の育成】

●川の生き物、水質調査等が実施された。



3年ぶりに宮若市小原地区を流れる弥ヶ谷川(犬鳴川、山口川の支流)で小原自治区子ども会が水質調査と生物調査を実施した。(令和4年8月21日)



笹尾川水辺の楽校運営協議会による「夏休みだ水辺で遊ぼう」の中で浄化実験や水生生物調査を実施した。(令和4年8月21日)

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 地域住民・NPO等

【地域住民・NPO等の取組：N0.9 流域の環境を守る人材の育成

N0.10 豊かな自然と歴史・文化的資源を活かした地域振興】

●水質調査、生物の環境学習、遠賀川の自然を活かした自然体験・カヌー・サイクリング等が開催された。

カヌースクール



主催：直方川づくり交流会



夏休みに入った子ども達が参加してくれました。お父さんと一緒に初参加した子は驚くほどスイスイと乗りこなして、水上からの景色を楽しんでいました。2度目の子ども達もさらに上達して、暑い中でも元気いっぱい楽しんでくれました。

7月～10月 直方市

コスモスの種まき (流域マップの③)



主催：ふるさとまちづくりの会

黒川河川敷でコスモスの種まきを実施されました。地元20団体と香月小学校3年生(70名)の参加により、無事終了しました。11月上旬頃に咲くコスモスの花が楽しみです。

7月13日 八幡西区

遠賀川源流の森再生応援団 会場準備



主催：遠賀川流域住民の会

第12回遠賀川源流の森再生応援団(竹林整備事業)を10月23日に控え、竹炭広場の清掃作業を行いました。約30年前に木炭焼として作られた窯は健在です。今年も放置竹林の整備と竹炭による河川浄化作戦を頑張ります。

7月13日 嘉麻市

清掃活動&セイタカアワダチソウ駆除



主催：中島自然再生協議会

定例の中島清掃後、中島に入って外来種の駆除作業が行われました。セイタカアワダチソウを草刈り機で刈り取ったり、根ごと引き抜く作業を行いました。数日前の雨のおかげでどんどん引き抜くことができました。

7月22日 中間市

夏休み寺子屋



主催：楠橋市民センター



台風5号の影響か、風が強く心配していましたが、カヌーの時間帯は風が少なく無事に終わることが出来ました。管尾川には、今回22種類の魚がいました。子ども達もいろいろなお魚さんに触って笑顔が多かったです。

7月30日 八幡西区

竹炭による河川の浄化作戦



主催：「小竹に住みたい」まちづくりの会

河川浄化を目的に、小竹町を流れる南良津川に竹炭を設置しました。竹炭は、竹取や竹割、竹炭焼き等、すべて一から住民の手で実施しています。河川がきれいになることを期待しています。

8月6日 小竹町

タガッパ学校



主催：田川ふるさと川づくり交流会

現地の水質・水生生物観察に参加した子供達と一緒に父兄の方々も体験しました。子供達にとってカヌーでの心地よい風、川に触れ、魚に触れ、彦山川を体いっぱい感じる夏休みのひと時であったように思います。

8月6日 田川市

穂波川少年少女カヌー大会



主催：大分カヌークラブ

飯塚市の天道河川敷で、穂波川少年少女カヌー大会が開催されました。参加した選手は全国的なカヌー大会にも出場しており、毎年、好成績をおさめられているそうです。終了後は参加者全員で河川敷の清掃を行いました。

8月6日 飯塚市

夏休みだ!水辺で遊ぼう



主催：管尾川水辺の楽校運営協議会



夏休みだ!水辺で遊ぼうを開催しました。子どもたちは3班に分かれ、浄化実験、水生生物調査、カヌー体験教室を順番に行いました。水生生物調査ではニホンウナギが網にかり、子どもたちは初めて触ったと喜んでいました。

8月21日 八幡西区

ふるさと探検隊



主催：ふるさと探検隊

コロナ禍のため3年ぶりのカヌー体験となりました。初めて乗る子ども達も多く、コーチから乗り方や漕ぎ方、パドルの使い方などを教わりました。子ども達は覚えが速く、楽しそうにずっと乗っていました。

8月28日 嘉麻市

第20回芦屋海岸クリーンキャンペーン



主催：遠賀川流域住民の会

コロナ禍のため今年も会員のみでの開催となり、参加者は91名でした。収集したごみは、可燃ごみが45袋80個分、不燃ごみが40個分でした。台風が過ぎた後の海岸にはこれまでにないほど多くの海藻やごみ、流木がありました。

9月25日 芦屋町

出典：遠賀川流域だより No79

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 地域住民・NPO等

【地域住民・NPO等の取組：NO. 11 流域における多様な主体の連携】

●遠賀川流域の各会場でナイトリバーが中間市、遠賀町、北九州市八幡西区、芦屋町等で開催された。

🌙 ナイトリバー2022inなま川づきあい交流会



今年のテーマは、「出会い」

今年は「出会い」をテーマに、10月29日(土)に流域内の5会場で開催しました。各団体の想いやデザインをあかりに灯すとともに、さまざまな催し物が行われて会場は盛り上がりました。

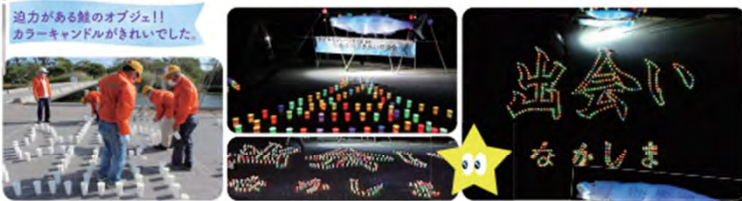
★ 笹尾川水辺の楽校会場



演奏や燈籠がとても素敵でした。

出会い

★ 遠賀川中島会場



迫力がある鮫のオブジェ!! カラーキャンドルがきれいでした。

出会い

なましま

★ 河口堰魚道公園会場



河口堰を背景に「であい」の文字が浮かびました。

ASHIYAシンフォニック吹奏楽

「大山」小倉紙屋太夫保存会

演奏や太鼓がとても感動しました。

★ 遠賀堀川会場



黄色ハンカチ

黄色のハンカチとキャンドルが堀川を彩ってくれました。

★ 遠賀町西川会場



遠賀町のシンボルがキャンドルとコラボ!!

今年は、ペットボトルを利用したキャンドルアートです。

🌙 ナイトリバーin飯塚2022

主催: 飯塚川づきあい交流会
協力: 遠賀川と飯塚河川敷を市長の憩いの場にしよう会



今年のテーマは、「再&Say!」

今年のテーマは「再&Say!」です。LEDキャンドルが空中に浮かんで見える立体的な燈籠や、橋から吊下げた空中燈籠など近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科の皆さんと協力して作成しました。

★ 飯塚会場



～近大生が会場をデザインし、キャンドルライトで作ったくつろぎの空間～

川の流れをイメージ

ライトアップ
楽しみ♪

橋から吊り下げた空中燈籠は幻想的で素敵でした。

近大生設置準備の様子

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 地域住民・NPO等

【地域住民・NPO等の取組：NO. 14 生態系に関する普及啓発活動】

- 第8回川ごみサミット（主催：全国川ごみネットワーク）が開催され、遠賀川流域住民の会では遠賀川流域のゴミ調査（11か所）の報告および情報共有・意見交換を行った。



川で拾ったごみの行方を考える

川で回収したごみは、誰が処理している？
拾ったごみを円滑に処理していくために何が課題となっているの？
ごみの発生抑制が重要ですが、今回は出してしまったごみを考えます。

日時 2023年1月28日(土) 13:00 ~ 16:00

会場 全水道会館 5階中会議室 + オンライン
(東京都文京区本郷1-4-1 / 京水道橋駅徒歩2分) (Zoon 利用)

主な内容

ボランティアが川で回収したごみの処理には多大な費用が必要です。それぞれの立場からの現状を紹介いただきます。その後、現状の課題を改善するための制度・政策や工夫は何か、皆で話し合います。

■<第1部>ごみ処理のどこが問題なのか

=現状の共有=(約90分)

- ① 市民団体 ごみ拾い活動現場からの声～
- ② 自治体関係者 自治体からの声～
- ③ 国土交通省河川環境課 国土交通省の取組み
- ④ 国土交通省 河川事務所 ごみ処理活動現場からの声～
- ⑤ 環境省水環境課海洋環境室 海岸漂着物処理推進法の施行に伴う通達について等

■<第2部>どのような制度・政策、工夫が必要なのか

=全体討議=(約60分)

全国川ごみネットワークHP



主体：流域住民の会

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 地域住民・NPO等

【地域住民・NPO等の取組：NO.14 生態系に関する普及啓発活動】

- 第8回遠賀川流域リーダーサミットが中間市で開催され、「次世代への継承」「流域治水（防災・減災）」「withコロナ, afterコロナにおける河川空間の利活用」をテーマにYouTubeでライブ配信された。



遠賀川流域では、水環境の改善や川づくり、まちづくりの推進のため、流域市町村のリーダーが一堂に会するサミットを平成19年度より隔年で開催しています。

第8回目を迎える今回は「次世代への継承」「流域治水（防災・減災）」「withコロナ, afterコロナにおける河川空間の利活用」をテーマに、遠賀川流域の未来ビジョンを語り合うリーダーサミットを令和4年6月4日に開催しました。

コロナ禍での開催となった今回は、3密を避けるために会場は関係者のみでの開催、開会から閉会までの全てのプログラムを、オンライン「YouTube Live」にてライブ配信しました。

なお、当日の様子は遠賀川河川事務所公式YouTubeで配信します。

遠賀川河川事務所
公式YouTube



開会宣言
笹尾川水辺の楽校運営協議会
金子 康利様

開会挨拶
田川ふるさと川づくり交流会
古木 文高様

開会市挨拶
中間市長
福田 健次様

閉会の挨拶
NPO法人 直方川づくりの会
吉峯 雅人様

遠賀川の未来に向けて活動する遠賀川河川協力団体・子どもたちの活動発表 コーディネーター



NPO法人 遠賀川流域住民の会
原口 公子様

NPO法人 直方川づくりの会
測上 信好様

活動発表 会場全景

笹尾川水辺の楽校運営協議会



NPO法人 直方川づくりの会



田川ふるさと川づくり交流会



NPO法人 遠賀川流域住民の会



(2) R4年度のアクションプラン取組状況 企業

【企業の取組：N0.14 生態系に関する普及啓発活動】

- 令和4年9月8日に松村産業(株)が金辺川（採銅所宮原地区）にて、小学校児童を対象とした環境学習を実施した他、令和5年3月18日に金辺川を守る会と一緒に町民を対象としたサケの稚魚放流を実施した。



金辺川サケの稚魚放流実施状況

出典：NPO法人遠賀川流域住民の会HP

(2) R4年度のアクションプラン取組状況 企業

【企業の取組：N0. 5外来生物の駆除】

- 令和4年5月～6月に計11回、トヨタ自動車九州（宮若市）が宮田工場周辺でオオキンケイギク駆除を行った。

実施主体：トヨタ自動車九州（宮若市）

内容：延べ168名で作業 宮田工場周辺1,500m, 89袋分駆除、 宮若市が処分



出典：トヨタ自動車九州提供資料

トヨタ自動車九州によるオオキンケイギク駆除状況

(3)WEBアンケート概要

- 遠賀川流域の住民を対象に生態系NWアクションプランに関するWEBアンケートを実施した。アンケート結果は、アクションプランへの関心度・取組状況・今後のニーズ等の初期値として活用する。また、アンケート自体が生態系ネットワーク形成の取組を地域住民へPRするための普及啓発活動ツールとなっている。

■WEBアンケート 概要

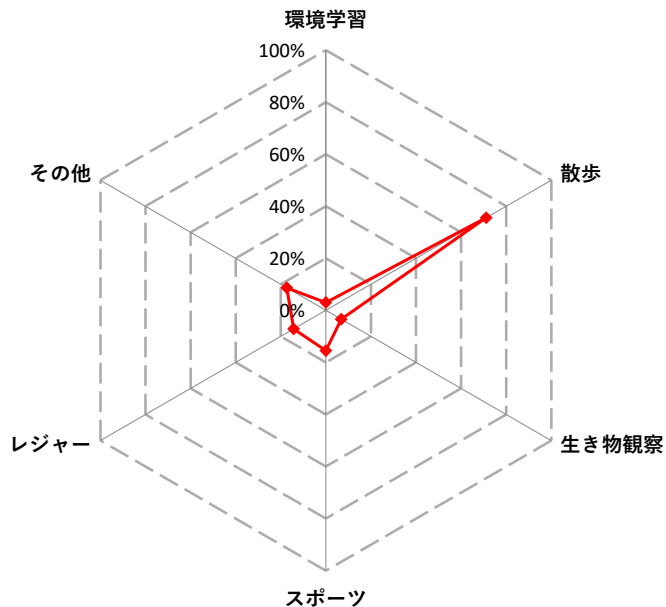
項目	内容
対象範囲	生態系ネットワーク形成の対象となる遠賀川流域の流域21市町村
アンケート数	上記対象範囲で1000サンプル(R3:n=1,011)(R5:n=1,013) (可能な限り市町村の男女別、年代別に沿った割合で配分)
調査期間	令和3年7月13～15日 令和5年6月12～15日
質問内容	・遠賀川の利用実態 ・生態系、遠賀川流域生態系ネットワークの認知度 ・アクションプランへの関心度、取組状況、ニーズ

(3) WEBアンケート結果まとめ

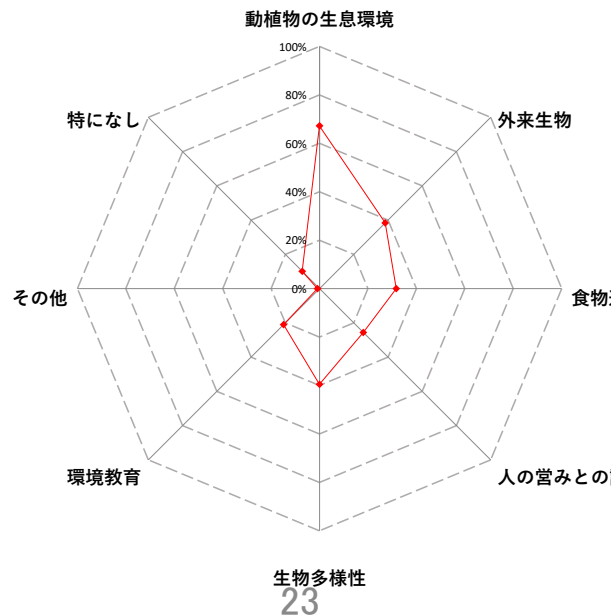
WEBアンケート 結果まとめ

- ・ 遠賀川の利用目的で多いのは「散歩」、「レジャー」であり地域住民の憩いの場となっており、今後フットパス等の設定によりさらなる利活用が期待できる。
- ・ 生態系のイメージは「動植物の生息環境」、「生物多様性」であり遠賀川周辺の生物情報の発信により生態系保全の機運が高まると考えられる。
- ・ 今後取り組みたいアクションプランは、「流域における多様な主体の連携」、「豊かな自然と歴史・文化的資源を活かした地域振興」、「外来生物の駆除」であり、産官学民の連携、自然と歴史・文化のコラボ、身近な外来生物駆除の取組が望まれている。
- ・ 遠賀川生態系ネットワーク形成のアクションプランの認知度は約1割であり、普及啓発が必要である。

遠賀川（本川および支川）は
どのような目的で利用しますか？



Q4 生態系と聞いて具体的に
どのようなことを思い浮かべますか？



アクションプランを知っていますか？

